

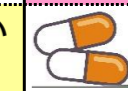
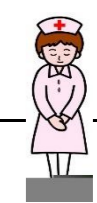


疾患別診療計画書

痔核・痔瘻・肛門ポリープの手術を受ける方へ

項目		入院日 手術日 術前	手術日 術後	術後第1病日	術後第2・第3病日～退院可能	退院日	
準備するもの	書類	手術承諾書を記載し看護師に渡して下さい。				退院証明書をお受け取り下さい。	
治療	処置	手術	入院時にネームバンドを右手首に付けていただきます。				
	清潔		パジャマに着替えていただきます。 場合により、麻酔をする部分(背中)の毛を剃ります。	体を拭いてパジャマに着替えます。	シャワーを浴びることが出来ます。 (頭痛のある方はお控え下さい。)	退院後は入浴可能となります。 (頭痛のある方はお控え下さい。)	
	薬剤	内服		持参薬を看護師に渡して下さい		便が硬いと痛みを伴う為、便を柔らかくする薬を処方します。	便秘気味の方は、緩下剤を処方いたします。担当医師にご相談下さい。
		点滴		昼食が摂れないため、点滴を施行致します。		点滴終了後、点滴ラインを抜去いたします。	
		抗生剤		抗生物質(化膿止め)の点滴を手術室で行います。	帰室後、一回抗生物質の点滴を施行します。	朝6時頃に抗生物質の点滴を施行します。	
		鎮静・鎮痛剤			術後、痛みのある場合は我慢せず、看護師にお伝え下さい。		創痛や頭痛がひどい場合は、退院処方として痛み止めを処方いたします。担当医師にご相談下さい。
検査	外来で済ませてありますので、入院後はありません。						
食事		手術が夕方以降になりますので、朝食を軽く済ませて下さい。	帰室後2時間で飲水のみ可能となります。	朝、水分を取っていただいた後流動食をお出しします。	普通食をお出しします。		
安静度		特に制限はありません。	ベット上安静ですが、寝返りは出来ます。麻酔が切れていれば、4時間後トイレ歩行のみ行えます。	制限ありません。徐々に歩いてください。頭痛のある方は看護師に伝えてください。			
排泄		室内トイレをご利用下さい。	帰室後4時間以内はベット上で排泄していただきます。 麻酔の影響で排尿が困難な場合は、管で取ることもあります。	室内トイレをご利用下さい。排便後は肛門を良く洗って清潔にして下さい。術後初めての排便は流さず看護師にお伝え下さい。			
説明・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・看護師が入院生活、手術に関する説明を致します ・薬剤等に関するアレルギーのある方は看護師に伝えてください。 			<ul style="list-style-type: none"> ・入院中、薬剤師による薬の説明があります。 ・頭痛・嘔気がある場合は伝えてください。 ・便秘を予防するため十分に水分をとってください。 ・麻酔の影響で頭痛が起こることがあります。なるべく安静にし、飲水を取ることで改善します。 			
退院後の治療計画 退院後の療養上の留意点	<p>退院は、傷の状態が落ち着いていれば、術後3日目以降に可能となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肛門は清潔にし、赤くなったり、はれたりした場合は外来受診して下さい。 ・退院後は適度な運動により便通を整えて下さい。 ・術後2～3か月痛みや、少量の出血が認められることもあります。 ・抗凝固剤を内服していた方は退院までに内服再開時期をお伝えします。 						